

第3149回例会 No. 2831
平成21年2月25日



DISTRICT 2500
OBIHIRO
ROTARY CLUB

2008-09年度 国際ロータリーのテーマ
Make Dreams Real(夢をかたちに)

方針 **感謝** 「人は、一人で生きられない」
会長 曾我 彰夫

RC会報
今昔物語

昭和29年1月27日
例会会報

- ・出席報告
田守 由宗 出席委員長
- ①2月18日の例会 会員総数100名(内出席免除会員14名) 本日の出席者数57名
- ②2月25日の例会 会員総数100名(内出席免除会員14名) 本日の出席者数49名
- ③1月28日の例会のメーキャップを含む出席数及び出席率88名 102.3%
- ④2月4日の例会のメーキャップを含む出席数及び出席率100名 116.3%



■プログラム
「会員卓話」

日本銀行帯広事務所所長 河合 博 会員



「その時経済は」

まず初めに、皆さんに余り馴染みの無い日本銀行の役割、仕事についてDVDを見て頂き、説明します。仕事は、多様なものですが、目的は通貨価値・物価の安定を図り国民経済の健全な発展に資すること、金融システムの安定等から信用秩序の維持を図ることの2点です。なお、最近マスコミによく採り上げられる企業貸付は本来の仕事ではなく、財務大臣等の認可を得て行っているということで異例の措置であります。これは日銀総裁も繰り返し説明しています。付録として、日本銀行の唯一の商品である現在有効な日本銀行券、貨幣の一覧パンフレットを配りました。銀行券が22種類、貨幣が14種類です。本当は現物を配りたかったのですが、予算が無く、これで勘弁して下さい。年配の方は、私以上に懐かしくご覧頂けるものと思います。後で、自宅に帰ってからじっくり眺めて下さい。

次に、世界的に景気が悪化している背景について整理してみると、以下の3点に集約できるかと思えます。1つ目が、昨年前半に生じた原油・資源価格の高騰です。これらを輸入する日本のような国は資金や儲けが海外の資源国に流出し、企業収益、設備投資、雇用等の悪化へと波及しています。2つ目が、米国での地価下落や住宅販売不振に伴うサブプライムローン問題です。これが米欧の金融機関の破綻、金融システム不安を招き、企業の資金繰りに影響を及ぼしています。米国では、日本のバブル崩壊以前と同様にこの問題が発生するまで地価が下落したことは無く、土地神話がありました。それが崩れたのです。

3つ目は、振り返ってみると、各国でバブル状態になりその後崩壊したようです。米国では、金融機関の役員がボーナスを数十億円も貰い、ロシアでは大富豪が高級車や宝石を買い漁り、英国の超有名なプロサッカーチームを買い取り、中国でも北京オリンピック、上海万博等ビル建設ラッシュに沸いていました。

また、日本景気の現状と先行きの展望についてですが、現状は、政府（内閣府）が月例経済報告で「急速な悪化が続き、厳しい状況」、日本銀行も金融経済月報で「大幅に悪化」と足元の悪さを強調しています。詳細は、ここで申し上げなくても皆さんも毎日目耳にしているでしょうし、雰囲気も暗くなるだけなので割愛します。先行きの展望としては、今年の後半、夏ないし秋頃から回復に向かうのではないかとというのが一般的な見方ようです。その回復の背景は、米国、中国等の財政出動が70兆円とか40兆円とかの規模でなされ、それが需要を刺激する。その後、日本も追加的な補正予算等で追随すれば、回復に加速が付くでしょう。現在大幅な減産をしている自動車等も夏までに在庫調整が終わり、その後漸次生産、輸出等が持ち直し、設備投資、雇用、個人消費等の増加へ波及していくでしょう。

最後に、日本景気回復の処方箋を考えてみました。その前例となる、過去の不況の脱却方法を整理すると、第1次・2次石油ショックに対しては省エネ等設備投資、変動相場制（円高）などで、円高不況には海外現地生産、部品輸入、内需転換などで、バブル崩壊には輸出、民活（構造改革）のほか、IT投資などでそれぞれ対処してきた。それでは、今回の不況に対しては、「気」の充実、需要創出（財政出動）、円安などが考えられる。一部で言われている政府紙幣の発行、霞が関埋蔵金活用等は打ち出の小槌でなく、問題が多いように思います。なお、不況への対

処策には、相応の副作用もあるので、それを考慮する必要があることを忘れてはいけません。例えば、円安にすれば輸出企業は良いが、輸入品関係者は大変になる。金利も引き下げて今のように低水準にすると、企業等の借入者は喜ぶが、高齢者等預金金利を当てにしている人々にとっては死活問題である。税金の使い方も人数割りであれば、都市部は有利ながら、地方は不利な扱いとなる。このように政策には、良し悪しの両面があり、それらを総合的に勘案して決定していることをご理解頂きたい。

なお、十勝・帯広の将来については、発展の余地がまだまだ十分あり、環境対策、農作物自給率の向上の2つがキーワードとなるでしょう。農業、食料品製造、エネルギー関連事業などで当地に優位性があり、期待もできると思います。また、景気循環は無くならないので、景気の良い時もあれば厳しい時が来ることを忘れずに、企業経営に尽力し、現在の荒波を乗り越えていって頂きたいとお願いして、今日の私の話を終了します。

■会長報告

曾我 彰夫 会長



皆様、こんばんは。
定例の夜間例会です。月に1回の夜間例会ですが、慣れましたでしょうか。

さて、先週の7クラブ合同ロータリーで、タイ国より福祉、医療の天使とも云うべき、バンロムサイの名取美和女士が、講師として話され感動を得ました。

おかげで、寄付となる人形も完売され、名取さん本人もとても喜ばれていました。今後も交流に努め、何とか7ロータリーで、1000個の人形を売り孤児院に寄付したく、5ロータリー会長幹事会で内定して、彼女の歓迎会で盛り上がり、具体化しましたら協力お願いします。

何と云っても、HIV感染の孤児院に医者でもないのに、50才過ぎてからの献身的な活動に頭が下がります。

本当に日本人の誇りです。彼女の隣に歓迎会の席で座ったのですが、何か安らかな、落ち着きさえ感じました。

まさに、日本のマザーテレサです。お陰さまで素晴らしい一日でした。

6月に東京に来ますので、ぜひ帯広にもう一度呼び色々の団体に聞いてもらいたいです。

最後に今までと関係ないですが、良いフレーズがありますので紹介します。

「あらゆる機会が、いま目の前にある。それを信じた人が、夢をつかむ」

本日もありがとうございました。

■会務報告

渡辺 喜代美 副幹事

■各委員会報告

・会葬御礼献金 小倉 豊 会員
このたび父の葬儀に大変お世話になりまして有難うございました。

・ニコニコ献金 親睦活動委員
金崎 信二 会員

グリーンジャンボ宝くじにご協力いただき、有難うございました。

河合 博 会員

本日、卓話を担当します。

真鍋 智紀 会員

我々の席、全員出席です。

・配偶者誕生祝い

藤井 敏雄 会員

■3月プログラム予定

3月4日「新入会員卓話」 (プログラム委員会)

安岡 美樹夫 会員

3月18日「講師例会」 (地域発展委員会)

3月25日「会員卓話」 (広報委員会)

■3月夜間例会について

3月11日「創立記念夜間例会」(ロータリー情報委員会)

於 帯広東急イン 18:30

当日はアルコールのご用意をいたしております。

■第2500地区第6分區【IM】開催のご案内

日 時 平成21年3月8日(日) 12:30~18:50

(プログラム概要)

①登録受付 12:30~13:00

②開会式 13:00~13:30

③講演ならびにフォーラム 13:30~16:45

●2006-08RI理事 渡辺 好政 様

●RI第2500地区パストガバナー 道下 俊一 様

④閉会式 16:45~17:00

⑤懇親会 17:15~18:50

会 場 ホテル日航ノースランド帯広

※3月8日(日)帯広RC会員の皆様は、午前11時までにお集まり下さい。



↑携帯サイトが
できました。
バーコードリー
ダーで読み込む
事ができます。



例会日/水曜日 12:30~13:30 例會会場/ホテル日航ノースランド帯広 TEL0155-24-1234

●創立/昭和10年3月15日●認証番号/3820●戦後再開/昭和25年12月19日

事務局/帯広市西3条南9丁目 経済センタービル4F TEL0155-25-7347 FAX0155-28-6033

●発行/クラブ広報●委員長/佐藤 睦浩・外崎 裕康・太田 隆博・大滝 欽也・高橋 勝坦
田巻 成男・櫻井頭一郎・田村 雄司

●ホームページアドレス/http://www.obihoro-rc.co.jp